

小川工業株式会社



和歌山県
橋本市隅田町真土39

1972年(昭和47年)設立
0736-32-2225

<http://www.ogawa-industry.co.jp>

代表取締役
佐々木 惣太郎

ファイブランキングを 超えたファインプレス

部品調達のグローバル化が進む自動車業界の中で、より競争力のある高付加価値製品を追求。

独自開発のファインプレス工法

従来、「厚板の精密打ち抜き」は、FB（ファイブランキング）加工が当たり前だったが、同社では、一般プレス機でFB同等以上の加工精度を確保する加工技術に取り組み、ローコストでの精密打ち抜きに成功した。

同社が永年培ってきたパーツフォーマ技術とファインプレス技術を駆使し加工した製品は、サスペンションやシートベルト関連からオートマチックトランスミッション部品まで、自動車の様々な分野で採用されている。

付加価値の高い加工、特殊技術を高めて

一般にプレス加工は、プレスダレや抜き面に破断・クラックなどが発生する可能性がある。同社の「ファインプレス工法」は、ダレを極小にし、せん断の確保(100%可)を可能にした。

自動車に搭載されるオートマチックトランスミッション内のポールパーキングは、その強度アップの為に厚くなる傾向にあり、加工の選択肢が限られている。そのニーズに対応できたのがファインプレス工法。加工工数の削減によるコストダウンや精度アップの実現で、ミッションメーカーなどの生産活動に寄与している。

改善への取り組み

TPM活動は、設備、工程、生産システムのあるべき姿を追求する全員参加の生産保全活動で、企業の体質改善活動である。同社は、TPM活動に積極的に取り組み、その成果は高く評価されている。



ファインプレス工法で加工した部品(ミッション部品・シートベルト部品)